

令和2年2月の消費動向調査公表に際しての
西村経済財政政策担当大臣談話

令和2年3月3日（火）

- 1．本日公表した令和2年2月の消費動向調査においては、消費者態度指数は38.4と、前月を0.7ポイント下回り、5か月ぶりの低下となった。この背景には、今回の調査票回収期間が2月5日（水）から2月20日（木）であり、新型コロナウイルス感染症の影響が反映されてきていると考えられる。
- 2．今回、消費者態度指数の動きを踏まえ、消費動向調査における消費者マインドの基調判断を、「足踏みがみられる」と前月の「持ち直しの動きがみられる」から下方修正した。
- 3．本調査の実施以後も感染が拡大しており、イベントの自粛要請、小中高校・特別支援学校の休校要請等を行ったところであり、新型コロナウイルス感染症が消費や消費者マインドに与える影響について、引き続き、しっかりと注視してまいりたい。